

第149期 報告書

2009年4月1日～2010年3月31日



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第149期報告書をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、金融危機以降、日経平均株価が穏やかに上昇し、企業収益は改善傾向を示しております。しかしながら、失業率が高水準にあることや持続的なデフレ状況にあることなどから、全体としては厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社は、平成21年度の事業計画を着実に実行してまいりました。ポートフォリオの再編に取り組み、大型EXIT（投資回収）及び運用上場株式の売却を実現し、収益の向上に繋げてまいりました。また、経営改善策として、組織体制及び本社運営コストの見直しによる経費削減に努め、会社運営のローコスト化を図ってまいりました。

さらに、アドバイザー事業において、国内外のクライアントとアドバイザー契約を締結し、事業戦略、資本政策等に関するコンサルティングに取り組んでまいりました。

これらの結果、当期における業績は、個別・連結ともに営業利益・経常利益・当期純利益の黒字化を達成いたしました。

当社は、金融危機以降の株式市場並びに投資環境の大きな変化を捉え、投資方針の転換を含む新たな成長戦略に取り組むべく、2010年度を初年度とする新たな中期経営計画を策定いたしました。

当計画では新興・中小型上場企業への投資に重点を置いております。現在、国内の株式市場に上場する中堅企業の多くでは、経済環境の大きな変化に伴い事業構造の見直しを迫られておりますが、厳しい環境下であっても、将来の成長を期し積極的に事業を展開しようとする企業が数多くあり、当社はこうした企業を側面より支援してまいりたいと考えております。

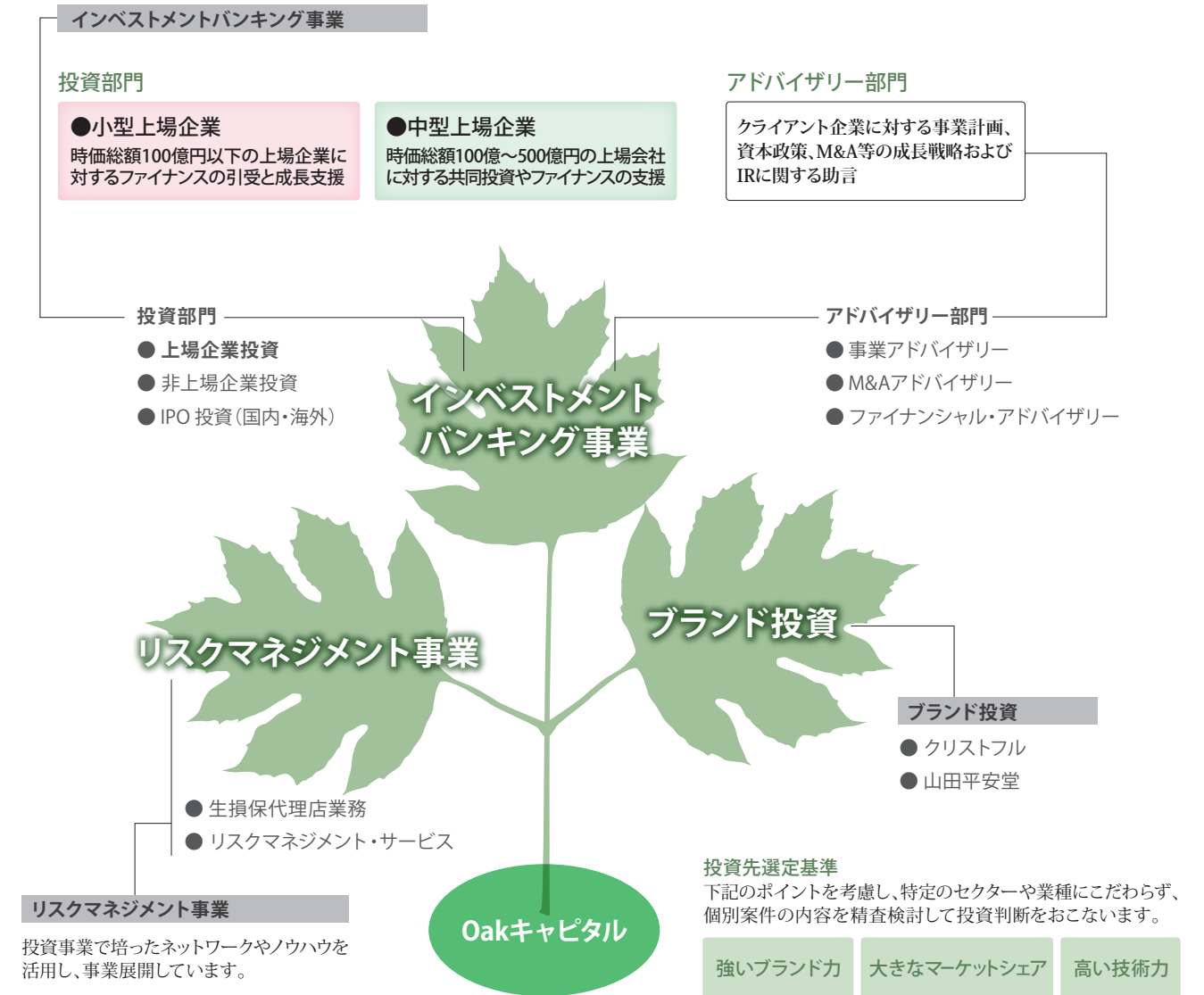
当社は、企業の活力向上と株式市場の活性化に貢献することにより投資会社としての役割を果たすことを目指し、また当社自身の企業価値向上を図り、鋭意邁進してまいります。

引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2010年6月  
代表取締役会長兼CEO 竹井博康

## 事業領域

インベストメントバンキングを柱に、経営資源を有効に活用する事業を展開しております。



## 中期経営計画（2010～2012年度）

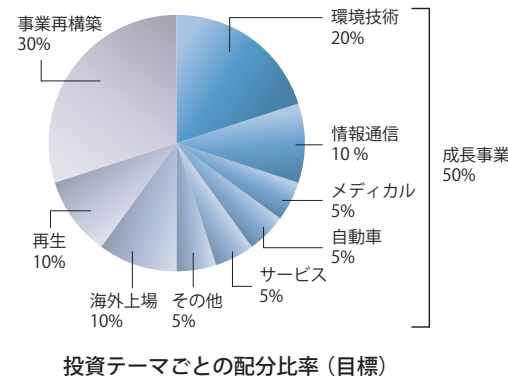
世界金融危機以降、市場内外の様々な要因により、中堅企業の多くにとっては資金調達が困難な状況となっております。このような環境において、インベストメントバンキング事業を営む当社に求められる役割は、これらの企業に対し、活力を生み出すためのリソースを提供することです。

当計画では、投資部門とアドバイザー部門の経営リソースとノウハウを活用し、新興市場ならびに中小型の上場会社に対するファイナンスの引受けとともに、バリューアップ戦略の策定や営業支援など、トータルアドバイザー/コーディネータ役として投資先の事業展開を支援することを骨子としております。

### 中期経営計画のテーマ

#### ①成長事業支援投資

- ・環境技術分野 地球温暖化対策、代替エネルギー、省エネルギー、資源再生
- ・情報通信分野 次世代ネットワーク先端技術、コンテンツ配信、3D技術
- ・メディカル分野 先端医薬品開発、医療機器開発、衛生
- ・自動車関連分野 新興国と共同事業展開
- ・サービス分野 クリエイティブ産業、アウトソーシング産業
- ・その他 業績の回復に伴う資本政策支援



#### ②海外上場支援投資

アジアにおいて既に事業展開を行う企業および今後アジア市場に進出する企業に対し、香港、上海、シンガポール等での株式上場を支援

#### ③事業再構築支援投資

- ・国内再編  
事業の選択と集中により国内での再成長を展望できる企業を中長期に支援。事業戦略から資本政策まで、トータルアドバイザーとしての支援および投資
- ・海外展開  
アジアをはじめとする新興国市場での事業展開により再成長が展望できる事業および技術を有する企業を、中長期にわたり事業戦略から資本政策まで、トータルアドバイザーとして支援および投資

#### ④再生投資

中核事業の成長力を有しながらも資本あるいは株式の市場性等に関する課題（債務超過解消、株式流動性向上、株式時価総額拡大等）を有する企業に対し、資金調達等の機会を提供

## ブランド企業への支援投資

### クリストフルジャパン株式会社

<http://www.christofle.com>

#### シルバーウェア最高級ブランドのフランス老舗メーカー

Christofle

クリストフル社は、19世紀より世界的に知られてきたシルバーウェアの老舗メーカーです。ルイ・フィリップやナポレオン3世の宮廷御用達業者をつとめ、オペラ座の屋上装飾を施す等、多くの偉業を残してきました。銀製品の歴史を塗り替え続けてきた、優良ブランドの圧倒的な存在感を放つクリストフル社製の銀製品は、現在も世界のトップクラスのカトラリー（食器類）であり、銀食器の代名詞として尊重されています。エリゼ宮をはじめ、パリの五つ星ホテル「ホテル・リッツ・パリ」をはじめとする国内外の最高級ホテルや一流レストラン、豪華客船などで使用されています。



### 株式会社 山田平安堂

<http://www.heiando.com>

#### 宮内庁御用達の老舗、高級漆器販売の最大手

宮内庁御用達 漆器 山田平安堂 YAMADA HEIANDO

宮内庁御用達の老舗として、広く知られる漆器専門店です。代官山本店や成田空港店など、直営部門を強化するとともに、国内流通部門の大胆な改革、欧州ブランド「ショパール」とのコラボレーション、ネット販売の拡大などにも取り組み、また、調達面では産地との直接取引を含む垂直統合や、新規商材の開発を進めるなど、業界トップの地位に安住することなく、常に自己革新を図っております。ライフスタイルの変化にとまらぬ、わが国の伝統産業が衰退傾向にあるなか、同社では、「伝統産業の永続的な発展に貢献する」ことを社是に掲げ、常に新しい価値を提供し続けています。



## 投資実績

<p>バイオセンサーズ・インターナショナル [シンガポール証券取引所 (SGX) メインボード] 米国</p> <p>心臓病治療に使用されるステント等の医療器具の開発および製造・販売</p>	<p>東京リスマチック [JASDAQ 7861]</p> <p>印刷・3D・デジタル画像</p>	<p>Askair Technologies AG スイス</p> <p>プラズマ技術開発</p>
<p>ケー・レーザー・テクノロジー [台湾証券取引所 2461] 台湾</p> <p>ホログラム・フィルム、セキュリティ関連商品等の製造・販売</p>	<p>オプトロム [名証セントレックス 7824]</p> <p>DVD、省エネルギータイプの次世代型蛍光灯の開発、販売</p>	<p>サイトライングループ 米国</p> <p>ソリューションプロバイダー</p>
<p>京写 [JASDAQ 6837]</p> <p>プリント配線基板の製造・販売</p>	<p>フライトシステムコンサルティング [東証マザーズ 3753]</p> <p>映像・音楽などのコンテンツ開発・管理</p>	<p>ダイフレックス Dyflex</p> <p>防水技術・ウレタン防水建材のトップメーカー</p>
<p>アパマンショップ HD [大証ヘラクレス 8889]</p> <p>賃貸斡旋・管理、投資不動産業務等</p>	<p>KFE JAPAN 株式会社 [名証セントレックス 3061]</p> <p>プリント配線基板の企画・設計に特化したファブレスメーカー</p>	<p>ジー・ネットワークス [東証 2部 7474]</p> <p>オリエンタルフーズのトータルサービス</p>
<p>ECI [名証セントレックス 4567]</p> <p>東京大学発のがん治療薬の創薬開発</p>	<p>ケー・レーザー・チャイナ 中国</p> <p>中国のホログラム事業で業績拡大中</p>	<p>キャドセンター CAD CENTER</p> <p>CG映像の技術開発とコンテンツ制作</p>
<p>ワールド・ロジ [大証ヘラクレス 9378]</p> <p>物流一括受託、物流コンサルタントの納品代行</p>	<p>日本コーバン</p> <p>ホログラムフィルム、レンチキュラー製品の販売、舞台照明機等の販売等</p>	<p>キュービーネット QBNet</p> <p>ヘアカット専門店チェーンの最大手</p>

<p>モンタボー Mont-Thabor</p> <p>高級ベーカリーチェーン</p>	<p>朝日インテック [JASDAQ 7747]</p> <p>医療機器の開発・製造・販売 極細ステンレスワイヤーロープ及び端末加工品等の開発・製造・販売</p>	<p>ADIRON</p> <p>オリジナル・インポートなどのブランドバッグを企画・販売</p>
<p>常楽酒造 JORAKU SHUZO</p> <p>本格焼酎(球磨焼酎)と各種リキュール酒の製造・販売</p>	<p>ICS ガーランド 米国</p> <p>米国トップクラスの技術を持つ建築用床材メーカー</p>	<p>恒和化学工業 恒和化学工業株式会社</p> <p>国内トップクラスの外壁水性塗料メーカー</p>
<p>五輪パッキング GORIN GORIN PACKING</p> <p>家電製品、ハイテク製品等の防塵、緩衝、絶縁用など、各種パッキングの製造・販売</p>	<p>共冷 キョウレイ</p> <p>鮮魚および冷凍魚の販売、自社ブランドの水産加工製品の専門商社</p>	<p>Oak キャピタル 1号ファンド 出資者：りそな銀行・みずほ証券</p> <p>業績回復、成長鈍化からの脱却、事業再編・事業再構築、事業継承、その他企業価値増大を図る企業を対象にした投資ファンド。Oak キャピタルおよびLP が持つ顧客企業のネットワークから、そのニーズに応えるバリエーションを行い、事業戦略立案・実行、経営人材の確保、取引先紹介など、状況に合わせた様々なバリューアップを実施する。</p>
<p>ジー・コミュニケーション G.communication</p> <p>多業態の直営およびフランチャイズ展開</p>	<p>三光ソフラン HD</p> <p>注文建築、分譲住宅販売、資産運用コンサルティング</p>	
<p>マルキン忠勇 [大証 2部 2538]</p> <p>調味料(醤油、だし)、アルコール類、健康飲料などを扱う食品メーカー</p>	<p>アルデプロ [東証マザーズ 8925]</p> <p>不動産業界のイノベーター</p>	<p>Pacifica ファンド 米国</p> <p>IT企業や材料化学企業に特化したシリコンバレーの投資ファンド。Oak キャピタルは Limited Partner として参加。</p>
<p>東京衡機製造所 [東証 2部 7719]</p> <p>試験・計測機器を開発設計製造を手掛けるメーカー</p>	<p>ユニオン UNION CORPORATION</p> <p>建築環境金属製品の製造・販売</p>	<p>BSL インシュアランス BSL</p> <p>総合的なリスク・マネージメントサービスを展開</p>

- ・EXIT 完了後のものを含む過去から現在までの主な投資先(社名等は投資実行当時のもの)を掲載しております。
- ・ファンド等を経由の間接保有のものを含みます。

# 連結財務諸表〈要旨〉

連結貸借対照表 2010.3.31

(単位：百万円)

科目	当期	前期
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,319	2,392
現金及び預金	855	310
受取手形及び売掛金	143	182
営業投資有価証券	1,787	1,285
商品及び製品	188	276
短期貸付金	—	315
その他	349	31
貸倒引当金	△ 4	△ 8
固定資産	602	611
有形固定資産	71	93
無形固定資産	9	12
投資その他の資産	521	505
繰延資産	13	—
資産合計	3,936	3,004

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ◎連結財政状態

当期末の総資産につきましては、前期末と比べ、9億31百万円増加し39億36百万円となりました。増加した主な要因は、大型EXIT（投資回収）の実現及び新・中期経営計画の前倒しによる新規投資等による営業投資有価証券の増加によるものであります。負債につきましては、前期末と比べ、7億58百万円増加し14億24百万円となりました。増加した主な要因は、新株予約権付社債の発行によるものであります。純資産につきましては、1億72百万円増加し25億11百万円となりました。増加した主な要因は、当期純利益の計上及び新株予約権付社債に付された新株予約権の権利行使による新株の発行によるものであります。

(単位：百万円)

科目	当期	前期
<b>負債の部</b>		
流動負債	447	558
支払手形及び買掛金	31	30
短期借入金	321	386
1年内返済予定の長期借入金	27	40
その他	67	101
固定負債	977	107
新株予約権付社債	880	—
長期借入金	24	20
退職給付引当金	62	83
その他	10	3
負債合計	1,424	666
<b>純資産の部</b>		
株主資本	2,548	2,378
資本金	3,077	3,042
資本剰余金	1,576	1,541
利益剰余金	△ 2,095	△ 2,196
自己株式	△ 9	△ 9
評価・換算差額等	△ 54	△ 165
新株予約権	5	—
少数株主持分	12	126
純資産合計	2,511	2,338
負債純資産合計	3,936	3,004

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 2009.4.1-2010.3.31

(単位：百万円)

科目	当期	前期
売上高	2,864	2,302
売上原価	1,208	1,575
売上総利益	1,655	726
販売費及び一般管理費	1,102	1,823
営業利益（△損失）	553	△ 1,097
営業外収益	47	145
営業外費用	20	136
経常利益（△損失）	579	△ 1,087
特別利益	73	7
特別損失	285	1,554
税金等調整前当期純利益（△損失）	368	△ 2,634
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	△ 0	1
少数株主利益（△損失）	264	△ 22
当期純利益（△損失）	100	△ 2,616

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ◎連結経営成績

連結業績につきましては、インベストメントバンキング事業を営む当社及びOak キャピタル1号投資事業有限責任組合は、大型EXIT（投資回収）を実現いたしました。産業資材事業の日本コーバン株式会社は、印刷業界の不況等により売上高の回復には至りませんでした。収益改善策としてコスト削減に取り組んでまいりました。リスクマネジメント事業のピーエスエル・インシュアランス株式会社は、新規顧客の開拓による営業力の強化に取り組んでまいりました。以上の結果、当期の連結業績は、売上高は28億64百万円（前年同期比24.4%増）となりました。また、損益面につきましても、営業利益5億53百万円（前年同期は営業損失10億97百万円）、経常利益5億79百万円（前年同期は経常損失10億87百万円）、当期純利益1億円（前年同期は当期純損失26億16百万円）となりました。これにより、個別、連結ともに営業利益、経常利益、当期純利益の黒字化を達成いたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書 2009.4.1-2010.3.31

(単位：百万円)

科目	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	44	1,819
投資活動によるキャッシュ・フロー	23	1,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	472	△ 4,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△ 21
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	544	△ 1,628
現金及び現金同等物の期首残高	295	1,923
現金及び現金同等物の期末残高	840	295

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

営業活動によるキャッシュ・フローは、44百万円のキャッシュ・インフローになりました。その主な要因は、インベストメントバンキング事業において、投資先企業の大型EXIT（投資回収）による収入が新規投資に伴う支出を上回ったためであります。以上の結果、営業活動によるキャッシュ・フローは2期連続してキャッシュ・インフローとなりました。

## 〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

投資活動によるキャッシュ・フローは、23百万円のキャッシュ・インフローになりました。その主な要因は、貸付金の回収及び本社統合による差入保証金（敷金）の一部回収による収入が、投資有価証券の取得による支出を上回ったためであります。

## 〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億72百万円のキャッシュ・インフローになりました。その主な要因は、新株予約権付社債の発行による収入9億39百万円が、少数株主への配当金の支払額3億83百万円を上回ったためであります。

## 株式の状況

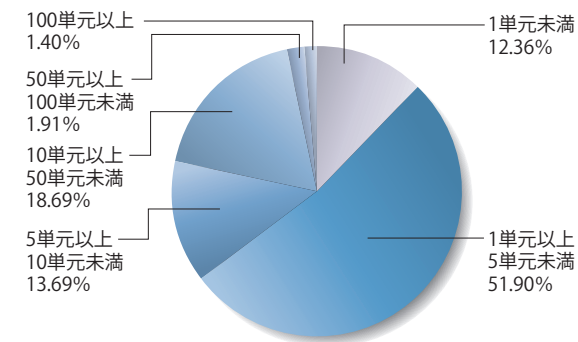
2010年3月31日現在

発行可能株式総数.....600,000,000株  
 発行済株式の総数.....215,824,287株  
 株主数.....18,623名

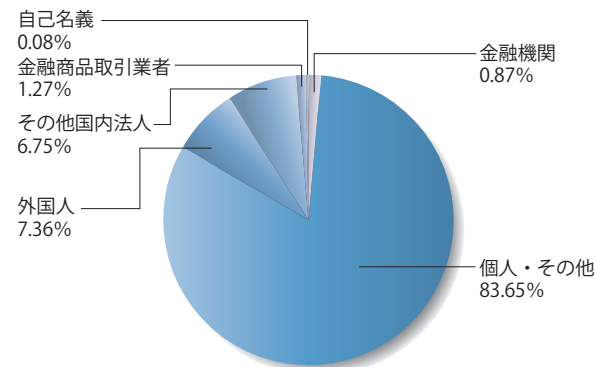
### 大株主 上位10位

株主名	所有株式数	持株比率
SIX SIS LTD.	12,030千株	5.57%
竹井 博康	8,753	4.05
エルエムアイ株式会社	7,451	3.45
株式会社三博商会	2,951	1.36
個人株主	2,202	1.02
日本証券金融株式会社	1,818	0.84
EFG BANK AG, HONG KONG	1,724	0.79
個人株主	1,648	0.76
個人株主	1,624	0.75
個人株主	1,200	0.55

### 所有株式数別株主数分布状況



### 所有者別株式数分布状況



## 会社概要

会社概要 2010年3月31日現在

商号	Oak キャピタル株式会社	市場	東証第二部（上場1949年）
創業	1868年	主幹事証券	大和証券キャピタル・マーケットツ
設立	1918年	会計監査人	監査法人 日本橋事務所
資本金	30億77百万円	取引銀行	三井住友銀行、みずほコーポレート銀行

役員 2010年6月29日現在

代表取締役会長兼CEO	竹井 博康	常勤監査役	高橋 英也
取締役	田中 克司	監査役※2	永野 義一
取締役※1	尾関 友保	監査役※2	坂井 眞
取締役※1	宇田 好文	監査役※2	廣瀬 元亮
常務執行役員 管理本部長	品田 耕一	顧問	岡本 行夫
執行役員 経理財務部長	秋田 勉	顧問	山田 晴信
執行役員 投資事業本部	河面 哲生	顧問	小田嶋 清治
執行役員 投資事業本部	緒方 健介	顧問	Hong Liang Lu

※1. 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
 ※2. 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

### 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで  
 定時株主総会 6月に開催します。  
 基準日 定時株主総会については3月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日  
 配当金受領株主確定日 3月31日及び中間配当金の支払いを行うときは9月30日  
 公告の方法 電子公告とします。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。  
 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）  
 （電話照会先） 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店並びに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。  
**■住所変更、単元未満株式買取・買増等のお申し出先について**  
 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。  
**■未払配当金の支払について**  
 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。  
**■株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内**  
 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

Oak キャピタル株式会社 証券コード：3113

---

<http://www.oakcapital.jp/>

〒107-0052 東京都港区赤坂八丁目10番24号 住友不動産赤坂ビル  
本 社 TEL.03-5412-7474 FAX.03-5412-8282  
投資事業本部 TEL.03-5412-7700 FAX.03-5412-8811